



学校だより

自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第28号 令和元年11月29日

鯖江市神明小学校
校長 加藤 健二

★3年生、豆腐づくり・・・国語「すがたを変える大豆」と食育のコラボ

3年生は、国語で「すがたを変える大豆」の学習をしました。大豆が姿を変えて豆腐になっていく様子を体験するために、食育の学習として「豆腐づくり体験教室」を4組が21日（木）に行いました。「おたとうふ」を製造販売しているウスヤ食品の白屋さんからご指導していただき、お家の方にもボランティアでお手伝いをお願いして豆腐づくりを体験しました。難しいところは、白屋さんにお手伝いや確認をしていただきながら、本格的な木綿豆腐が完成しました。完成した豆腐とおからはお家にもって帰り、できたての湯葉はその場でいただきました。給食でも卵の花入り煮でおからをいただきました。26日（火）には3組が行い、他の学級も12月に行う予定です。



★2年生、おもちゃランドに1年生を招待・・・アイデアいっぱいのおもちゃランド



26日（火）は、体育館がおもちゃランドになりました。2年生が生活科で作ったおもちゃでアイデアいっぱいの「おもちゃランド」に1年生を招待しました。体育館にたくさんの楽しそうなおもちゃコーナーがオープンされ子どもたちの歓声が広がりました。1年生はおもちゃランドを楽しむことができ、2年生の子どもたちも喜んでくれる1年生との交流を通して満足感を味わうことができました。

★神明っ子集会・・・映像でボランティアの方の活動を知り、感謝の気持ちを

25日（月）に神明っ子集会を行い、日頃からお世話になっている見守り隊や図書ボランティアの方々の活動の様子を映像で見ました。映像の中には、ボランティアの方からのメッセージもあり、命の大切さや本を丁寧に扱うことの大切さを再確認しました。そして、「ありがとうの気持ちを伝えよう」ということで、感謝の気持ちを伝える手紙を書くことにしました。飼育栽培委員会で世話をしている鉢植えを手紙と一緒にボランティアの皆さんにプレゼントする予定です。



★4年生、産業体験学習・・・うるしの里会館の見学と絵付け体験

バス代や体験費用を市から補助していただき、毎年4年生の子どもたちが産業体験学習に出かけています。繊維や眼鏡、漆器の三大産業から、今年は漆器産業を選び、河和田のうるしの里会館に行きました。うるしの里会館では、漆器の製造工程や歴史を学ぶことができ、貴重な漆芸品や漆器、伝統工芸士による漆器づくりの実演や立派な越前漆山車を見学することができました。漆器のワークショップでは、事前に用意した図柄をもとに写真立てに絵付けを行いました。



★5年生、市消費者センター出前講座とふれあい文化スクール

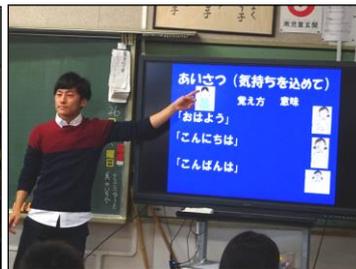


19日(火)の学校公開日に、5年生は市消費者センターの出前講座「インターネットやスマートフォンを上手につかえる人になりましょう」で、「文面では気持ちは伝わりにくく、誤解を生みやすいというSNSの危険性」、「どこの誰とつながるか分からない、なりすましもあるインターネットの危険性」、「実際に鯖江で起こったトラブルを例に、課金の危険性」を学びました。このような危険から子どもたちを守るためにも、家庭でスマートルールを決めて、安全に使っていくことができるように話し合いをしていただくようにお願いします。



子どもたちに本物を体験してもらおうと県の事業として、毎年ハーモニーホールふくいで実施されている「ふれあい文化スクール」に、26日(火)、5年生が参加しました。福井県出身の指揮者、演奏者による、教科書で学習する曲や馴染みのある映画音楽の演奏を聴くことができました。演奏だけでなく、楽器の紹介や魅力を学ぶこともできて、オーケストラを身近に感じることができる素晴らしい体験でした。アンコールでは、みんなが拍手で演奏に参加できるなど最後まで楽しむことができるなど、充実した時間を過ごすことができました。

★4年生、総合的な学習の時間で「福祉教育」・・・手話体験



26日(火)に4年生は3回目の福祉教育として手話体験を行いました。講師は、手話の普及に取り組んでいるしゅわしゅわ講師団から、聴覚障害の方(ろう者)や手話通訳の方など9

名をお迎えしました。聴覚障害の方からお話をさせていただいたり簡単な手話を教えてもらったりしました。「手話は聴覚障害者にとって大切な言葉です。日常生活の中で話がしづらいと不便に思うことも多いですが、みんなと手話で話せたら壁もなくなり、生活しやすくなります。」とおっしゃっていました。手話の意味も教えてもらおうと、難しそうな手話ですが分かりやすく、覚えることができそうに感じました。

★「とまれ」の表示・・・いつでも、どこでも、安全確認をして道路を横断！！



先日、下校時に道路に飛びだして車と接触する事故がありました。幸い、大事には至りませんでした。今後このようなことがないように注意喚起するために、停止線ととまれの表示を白いペンキで描きました。校門のところにも、同様の表示を描きました。いつでも・どこでも、飛び出しをしなして、しっかり安全確認をして道路の横断ができるようになってほしいと思います。